

細菌性膣炎 (Bacterial vaginosis)

別名：BV

細菌性膣炎は、膣内細菌の正常なバランスが変わってしまうことで発症する細菌（バクテリア）性の感染症です。

重要ポイント

- 細菌性膣炎は通常、セックスをする人にもみ発症します
- 細菌性膣炎は多くの場合、無症状です
- 細菌性膣炎はセックスをすることで引き起こされることがありますが、セックスで感染し得るのかどうかはまだ判明していません
- 細菌性膣炎の治療には通常、抗生物質の錠剤か膣に塗布する抗生物質のクリームが使われます

細菌性膣炎とは？ (What is this?)

健康な膣には、様々な種類の細菌が存在しています。

細菌性膣炎（BV）では、いくつかの細菌の量が増える一方で他の細菌は減少し、膣内の細菌バランスが変わってしまいます。その結果、不快なおいやりものなどの症状が現れることがあります。

細菌性膣炎の実際の原因はいまだに特定できておらず、現在も研究が続けられています。

細菌性膣炎にはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

性行為をしている人は、細菌性膣炎を発症する確率が高い傾向にあります。しかし、細菌性膣炎が実際にセックスを通して感染するのか、あるいは性行為そのものが細菌性膣炎を引き起こしているのかは、まだ判明していません。

研究では、つぎのような特定の行為が細菌性膣炎を発症させるリスクの上昇と関係していることが示されています：

- 性的なパートナーが変わる
- コンドームその他の防護具を必ずしも常に使っているわけではない
- 膣がある人と性的なパートナー関係にある
- 膣洗浄

細菌性膣炎の症状 (What are the symptoms?)

細菌性膣炎の症状には、つぎのようなものが含まれます：

- 膣からの強いにおい
- おりものの増量や質の変化
- 膣部の不快感

細菌性膣炎の検査方法 (How do you test for it?)

細菌性膣炎の診断は、検査と微生物学的所見を組み合わせて行われます。

細菌性膣炎の治療法 (How is it treated?)

細菌性膣炎の治療は通常 7 日間にわたり行われ、経口式の抗生物質の服用か、膣に塗る抗生物質のクリームが使われます。

感染者の 50%は、こうした治療により細菌性膣炎を体内から一掃できますが、それでは完全に除去できない人も最大で 50%おり、後者に属する人は治療から 1 年以内に細菌性膣炎を再発します。

再発を繰り返す細菌性膣炎については、膣用の抗生物質を使用した、より長期的な治療を行うこともできます。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

細菌性膣炎はよく見られる症状であり、感染者の多くは合併症をまったく発症しません。

しかし、細菌性膣炎は早期流産や早産、低出生体重児、骨盤内炎症性疾患（Pelvic Inflammatory Disease: PID）、そして STI（性感染症）感染リスクの増加との関連性が指摘されています。

i 骨盤内炎症性疾患（PID）についての詳細情報は、**StaySTIFree** のウェブサイト (staystifree.org.au) で確認してください。

治療後の再発の可能性 (Is it likely to come back after treatment?)

細菌性膣炎の治療を受けた人の半数近くが、再発を経験しています。治療後に症状が再び現れたときは、医師に相談してください。

自分を守るために (How can I protect myself?)

現時点では細菌性膣炎の感染・発症を予防するために推奨されるような行動や処置をお伝えすることはできません。コンドームやダム（薄いビニール状の防護シート）などの防護具を使うことは細菌性膣炎の感染予防に役立つかもしれませんが、こうした防護具は完全な防御性を有するわけではありません。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもらう
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STIに感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000番（救急）に電話通報してください。